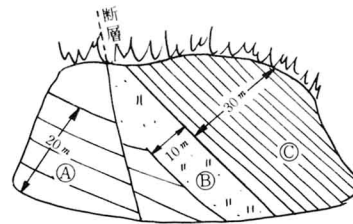


見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。

- ② 地層の色，地層の模様（しま模様），地層の重なり方，大きな割れ目（断層）など気付いたことを書き入れる。



- ③ このがけのある山は，④，
⑤や⑥層が斜めに重なって
できていることを理解する。

- ④ 地層は水平方向にも広がっていることを理解する。

- (3) 地層に近づいてその特徴を観察させる。

④層は暗灰色を帯びた頁岩層で，葉理が発達しており，20m以上の厚さが観察されます。

⑤層を指で触って見ると砂と違った感じを受けます。これは火山灰が混じってつもってできたため，凝灰岩質砂岩と呼ばれる岩石からできている地層で，地下水を含むので岩石に含まれている鉄分が酸化して，地層は淡黄色を帯びているのです。

⑥層はしま模様がよく発達しています。このしま模様は，うすい頁岩層と砂層が交互に重なり合っているため，このような重なり方をした地層を互層と呼んでいます。

また，露頭の左側に大きな割れ目（断層）が見られます。断層面に沿ってどちらがずり下がっているか調べてみましょう。

このがけに見られる地層は中新世末の海退（だんだん海が浅くなる）期にもらった地層で，大塩小学校の観察露頭の地層と同時代のたい積層です。